

馬ヶ岳

福岡県 行橋市・京都(みやこ)郡 2026年 1月28日

二つの峰からなる山容が神馬に見える山



馬ヶ岳山頂直下にある八畳岩にて

本日のコース <全行程 3時間43分>

馬ヶ岳城跡臨時駐車場 9:34 → 登山道入口 9:54 → 展望台 10:26 →
二の丸跡 10:46 → 馬ヶ岳山頂<城址・本丸跡> 11:19 <昼食> 12:02 →
八畳岩 12:07 → 馬ヶ岳山頂 12:20 → 馬ヶ岳城跡臨時駐車場 13:17

今年の干支に因んで馬ヶ岳にやって来た。この山を訪れるのは2回目だが、初回の際も12年前の午年(うまどし)での登山だった。前回は単独行で隣の御所ヶ岳にも足を伸ばしたが、今回は4人で馬ヶ岳だけをのんびり堪能した。今年は午(うま)くいく年になることを願っての登山。12年後にまたこの馬ヶ岳に干支登山が叶うならばこの上ない喜びだろう。



馬ヶ岳城跡臨時駐車場 9:34 以前は駐車場に簡易トイレがあったが・・・現在は無し



駐車場と民家の間を歩いて登山道入口へ向かう 9:40



民家を通り抜けると道標が登山道入口を案内してくれる



道端に赤い実を見つけた 9:48



赤い実は色付きの良い千両だった



登山道入口 9:54 この正面には簡易トイレが設置されていた



馬ヶ岳城跡の土塁と畝状竖堀群

馬ヶ岳城は、豊前地方の重要拠点として、攻防の舞台となってきた。

九州平定に際して戦国時代の天正15(1587)年、豊臣秀吉は、小倉城を経て、馬ヶ岳城に滞在し、当城を拠点とした。

馬ヶ岳城の北側山麓から中腹部分には、高さ2～3m、全長500m以上の長大な「土塁」50本以上からなる多くの竖堀群で構成された「畝状竖堀群」が築かれている。

「土塁」と「畝状竖堀群」のセットは、この豊臣秀吉御着座に際して増築された防衛施設と考えられる。北部九州における「山城」から「平城」への城郭構造の変遷を知る上で重要な遺構である。

<行橋市教育委員会>



さっそく登山道入口から登山道をスタート！ 9:56



頑張って石段を上ります 10:16 暑くなって上着を脱ぐ



展望台 10:26

展望台には戦国武将の名前がついた岩がある



大関岩(豊臣秀吉)



官兵衛岩(黒田官兵衛)



又兵衛岩(後藤又兵衛)



展望台のベンチに座って小休憩



展望台で休憩後は馬ヶ岳山頂(本丸跡)を目指す！
先ずは山頂手前にある二の丸跡まで360m。



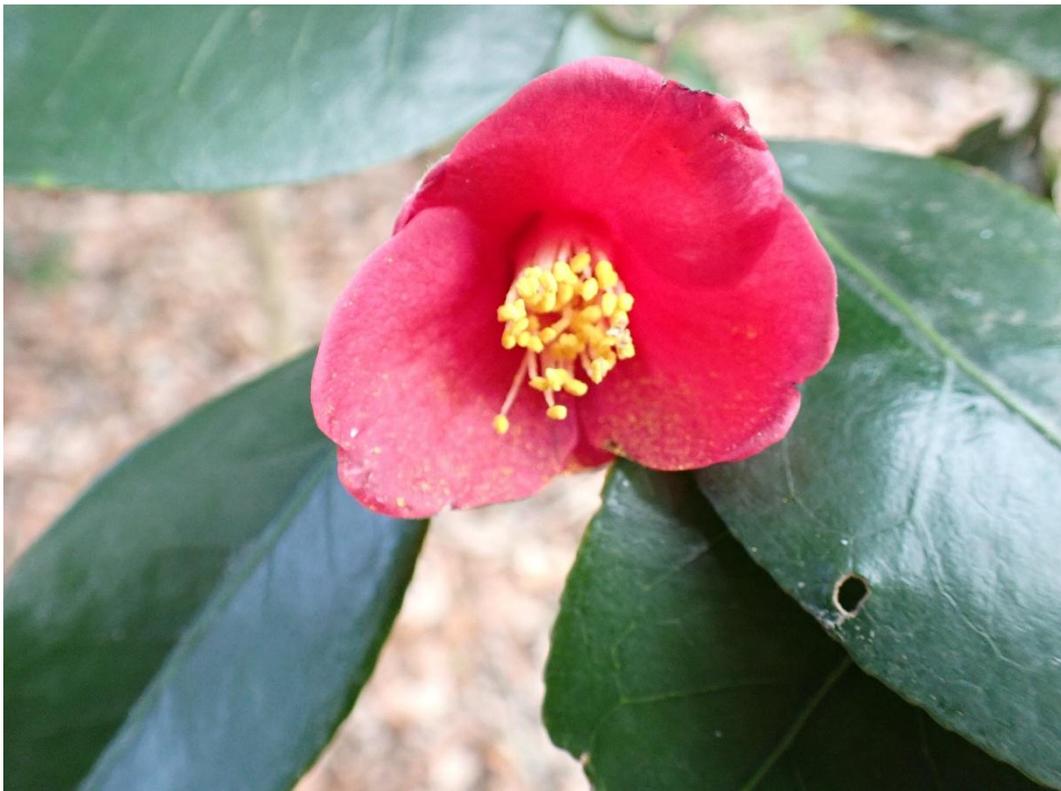
二の丸跡 10:45 ベンチでのんびり景色を楽しむ



二の丸跡から平尾台方面を望む 10:46 気温は8℃



東山(二の丸跡)と西山(山頂本丸跡)の鞍部を通過 11:12



登山道にツバキが一輪咲いていた



馬ヶ岳山頂<城址・本丸跡> 11:19 新田氏忠表碑



山頂のベンチで記念撮影



山頂にある祠の中の三面像



可愛い山頂碑を見つけた 216m



昼食後に山頂直下の八畳岩に行ってみることにした 12:00



山頂を通り抜けて八畳岩へ 12:02



山頂を下るとすぐに八畳岩への道標 12:05



八畳岩 12:07



八畳岩の後ろに弘法太師像



八畳岩から山頂に戻ってきた 12:20 可愛い山頂碑の前でも記念撮影



下山開始 12:24



下りはショートカットコースを2度利用 12:29 シダが覆い茂る



会話も弾み、あっという間に登山道入り口に到着 13:01 正面に簡易トイレ



無事に下山 13:01 登山道入り口でもう一枚



馬ヶ岳城跡臨時駐車場 13:17 ゴール

3時間43分の山歩きが終了
スマホの歩数計は10352歩
T師匠・T井ご夫妻、お世話になりました
お疲れ様でした。